

4. 「学校教育学部卒業生の卒業後のキャリアに関する調査」の概要

1. 調査の目的

本調査は、本学の卒業生がどのようなライフコースたどり、キャリアを形成してきたか、また、教育課程や在学中の各種の経験等が卒業後のキャリア形成にどのように役立っているのかを尋ね、今後の本学の教育課程や総合教職キャリアセンターの取組に生かすために実施したものである。特に卒業後から現在までのキャリアに関して生じた困難（克服すべき問題）と本学在学時の教育や経験等との関連性を調査し、キャリア形成（特に教員）に際して求められる資質能力を明らかにするとともに、大学教育（課外含む）、卒後教育・生涯学習のニーズ等を明らかにする。

2. 調査対象者

兵庫教育大学学校教育学部卒業生全員（住所不明者等調査票送付が不可能な者を除く） 4,376 人

3. 回答者数

581 人（回収率 13.3%）

4. アンケート実施期間

平成 23 年 1 月 31 日～平成 23 年 2 月 18 日

5. 調査方法

質問紙又は Web での回答を卒業生が選択

6. 調査内容

別紙「調査票」のとおり

7. 集計・分析結果について

本調査の詳細な集計・分析については、平成 23 年度に実施を予定している。

Ⅱ あなたがこれまでに経験された、仕事上での困難や克服しなければならなかった問題などについてうかがいます。大学卒業から現在までの社会人生活を思い起こしながらお答えください。

■ 現職の教員の方、または過去に教職に就いていた方 →Q 1-1

■ 教職の経験は無いが、現在仕事に就いている、または過去に就いていた方
→Q 1-2

■ 大学卒業から現在まで、一度も職業に就いたことのない方 →5ページのQ 6

へそれぞれお進みください。

Q 1-1 《現職の教員の方、または過去に教職に就いていた方》

大学を卒業して以降、今まで経験してきた仕事上での様々な困難、克服しなければならなかった問題などのうち、いちばん大変だったと感じる教員に特有の問題は、どのようなことでしょうか。次の中から最もあてはまると思われるものをお選びください。(〇は1つ)

1. 幼児・児童・生徒への学習指導上の問題
2. 不登校・いじめ・非行など生徒指導上の問題
3. 発達上の課題を抱えた幼児・児童・生徒への対応
4. 課外活動の指導上の問題
5. 学級経営上の問題
6. 保護者への対応
7. 地域住民への対応
8. 学習指導要領の改訂など、教育改革や制度変化への対応
9. 同僚や管理職との関係(職場の人間関係)
10. 事務処理など業務の多忙
11. ICTの活用や情報機器への対応
12. その他(上記以外) ()
13. いままで仕事上で困難や問題などを感じたことはない(→4ページのQ5へ)

→Q 2へ

Q 1-2 《教職の経験は無いが、現在仕事に就いている、または過去に就いていた方》

大学を卒業して以降、今まで経験してきた仕事上での様々な困難、克服しなければならなかった問題などのうち、いちばん大変だったと感じる問題はどのようなことでしょうか。次の中から最もあてはまると思われるものをお選びください。(〇は1つ)

1. 職場における人間関係
2. 職務の複雑化・増大化による多忙感
3. ノルマや成果主義によるプレッシャー
4. 職務上のミスの発生とその処理
5. IT機器や情報ネットワーク化への対応
6. 外国語の習得
7. 専門的知識・技能の習得(パソコンや外国語を除く)
8. その他(上記以外) ()
9. いままで仕事上で困難や問題などを感じたことはない(→4ページのQ5へ)

→Q 2へ

Q2 前問（Q1-1またはQ1-2）でお選びいただいた最大の困難や問題は、いつ頃発生しましたか。

あなたがその仕事に就いて 年目頃 で あなたの年齢が 歳の頃

Q3 差し支えない範囲で、その最大の困難や問題の内容を具体的にお書きください。またその原因はどこにあるとお考えでしょうか。

《内容》

《原因》

Q4 その最大の困難や問題は、現在、既に解決（克服）されていますか。（○は1つ）

1. 既に解決（克服）した
2. 現在も解決（克服）していない・継続している（→4ページのQ5へ）

※「1」とお答えの方へ▶▶

（SQ4-1）その最大の困難や問題を、どのように解決（克服）されましたか。具体的にお書きください。

(SQ4-2) その解決(克服)にあたって、学生時代に身につけたことは役に立ちましたか。大学のゼミ・授業、課外活動、アルバイト、ボランティア体験、先輩・友人のネットワークなども含めてお考えください。(〇は1つ)

- | |
|--|
| 1. 役に立った
2. 役には立たなかった(→Q5へ)
3. わからない(→Q5へ) |
|--|

◀「1」とお答えの方へ▶

(SQ4-3) 役に立ったことは具体的にはどのようなことですか。

III 現在のお仕事やキャリア形成に関するお考えをうかがいます。

(現在、職業に就かれていない方は、過去の主なお仕事について当時の状況をお答えください。)

Q5 学生時代に身につけたことで、①仕事の役に立っていると思うことを、3つ以内で具体的にお書きください。また、②それを身につけた機会や場所を選択肢からお選びください。

① 学生時代に身につけたことで、仕事の役に立っていると思うこと	② 右から選択	② 身につけた機会や場所 (選択肢)
(例) 1. 自分の考えをまとめて発表する力	4	1. 学部の講義・授業 2. 専門科目のゼミ 3. 教育実習 4. サークル活動 5. ボランティア体験 6. アルバイト 7. 地域活動 8. 先輩・友人のネットワーク 9. 担当教員との関係 10. 他大学生との交流 11. その他(選択された場合は内容を具体的にお書きください)
2. 教科についての広範な知識	2	
3. 相手の立場に立つことができる	6	
1.		
2.		
3.		

Q6 今後の仕事やキャリアアップなどのために、①これから身につけたいと思っている知識や能力などがあれば、3つ以内でお書きください。また、②それを身につけるための機会や場所として考えているものを選択肢からお選びください。

① 今後身につけたい知識・能力	② 右から 選択	②身につけるための機会や 場所（選択肢）
(例) 1. 英会話	6	1. 大学の公開講座や講習 2. 大学院での修学 3. 教育センター等の研修 4. 地域の市民講座 5. 専門学校 6. カルチャーセンター等の民間教育機関 7. その他(選択された場合は具体的にお書きください)
2. ICTの利用・活用法	1	
3.		
1.		
2.		
3.		

IV 社会人に必要とされる基礎的な能力や資質について、ご意見をうかがいます

Q7 下表の(1)～(15)に列挙した能力・資質は、教員に限らず、社会人としてどの程度必要だと思われるか。該当欄の1～4のいずれか1つに○をおつけください。

社会人としての能力・資質	1 とても必要	2 ある程度必要	3 あまり必要ではない	4 まったく必要ではない
(1) 職務に関する豊富な専門知識	1	2	3	4
(2) 専門分野を超えた幅広い知識や一般教養	1	2	3	4
(3) 文章での表現力・国語力	1	2	3	4
(4) 外国語の能力	1	2	3	4
(5) 計算・統計などの数的能力	1	2	3	4
(6) パソコンなどIT機器の使用能力	1	2	3	4
(7) 口頭での表現力（プレゼンテーション能力）	1	2	3	4
(8) 他者の意見を傾聴する能力	1	2	3	4
(9) 議論や交渉の能力	1	2	3	4
(10) 構想を実現する企画力や実行力	1	2	3	4
(11) 既成概念に捉われない柔軟な発想力	1	2	3	4
(12) 多様な文化や価値観に対する受容力	1	2	3	4
(13) チームワークにより問題を解決する能力	1	2	3	4
(14) リーダーシップ、指導力	1	2	3	4
(15) 挨拶や礼儀・気配りなどのマナー	1	2	3	4

V 最後に、後輩へのメッセージをお願いします【全員の方をお願いします】

Q8 在学中の後輩への応援メッセージをお願いします。その他、ご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。お忙しい中、ご協力誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒（切手は不要です）にてご返送ください。